学校番号	３１４

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅱ	2	2	be English Logic and Expressions Ⅱ Clear be Grammar Book Ⅰ be Grammar Book Ⅱ Scramble 英文法・語法

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

論理・表現Ⅱでは、論理・表現Ⅰで学んだことを土台に、さらに深く学習します。そのため、既習事項の復習と授業毎の予習が必須になります。すべての授業において語彙力だけでなく、表現力もつけてもらいます。そのためには授業に参加し、単元の理解を深めるばかりではなく、ペアワークやグループワークを活用し、他者の意見を聞き比べるたり、教え合うことでも更に理解を深めます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることが出来る。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞くことが出来る。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことが出来る。	・説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をすることが出来る。また、聞き手に伝わるように音読や暗礁を行うことが出来る。 ・論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読むことが出来る。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら読むことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめることが出来る。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことが出来る。 ・説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話すことが出来る。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、結論をまとめ、発表を行うことが出来る。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことが出来る。 ・説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話すことが出来る。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことが出来る。 ・論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら書くことが出来る。 ・説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように書くことが出来る。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有の知識及び技能と関連付けたり活用し たりする中で，概念等として理解したり，技能を習 得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のため に必要な思考力，判断力，表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現 力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取 組の中で，自らの学習を調整しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1 Your Interests Lesson 2 Your Daily Life	聞くこと	a: 時制や不定詞を含む文を正しく聞き、文の全容を理解できる。 b: 時制や不定詞を含む文を正しく聞くことができる。 c: 時制や不定詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		読むこと	a: 時制や不定詞を含む文を正しく読み、文の全容を理解できる。 b: 時制や不定詞を含む文を正しく読むことができる。 c: 時制や不定詞をしようとしている。	定期考査 小テストなど
		話すこと （やり取り）	a: 状況や伝えたいことに応じて、時制・不定詞を正しく使える。 b: 時制・不定詞を正しく使うことができる。 c: 時制や不定詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		書くこと	a: 状況や伝えたいことに応じて、時制・不定詞を正しく使える。 b: 時制・不定詞を正しく使うことができる。 c: 時制や不定詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
	中間考査			
	Lesson 3 Your School Life Lesson 4 Media Literacy	聞くこと	a: 助動詞・形容詞を含む文を正しく聞き、文の全容を理解できる。 b: 助動詞・形容詞を含む文を正しく聞くことができる。 c: 助動詞・形容詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		読むこと	a: 助動詞・形容詞を含む文を正しく読み、文の全容を理解できる。 b: 助動詞・形容詞を含む文を正しく読むことができる。 c: 助動詞・形容詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		話すこと （発表）	a: 状況や伝えたいことに応じて、助動詞・形容詞を正しく使える。 b: 助動詞・形容詞を正しく使うことができる。 c: 助動詞・形容詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		書くこと	a: 状況や伝えたいことに応じて、助動詞・形容詞を正しく使える。 b: 助動詞・形容詞を正しく使うことができる。 c: 助動詞・形容詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
	期末考査			
2	Lesson 5 Helping Others Lesson 6	聞くこと	a: 形容詞句・関係詞を含む文を正しく聞き、文の全容を理解できる。 b: 形容詞句・関係詞を含む文を正しく聞くことができる。 c: 形容詞句・関係詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		読むこと	a: 形容詞句・関係詞を含む文を正しく読み、文の全容を理解できる。 b: 形容詞句・関係詞を含む文を正しく読むことができる。 c: 形容詞句・関係詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど

	Introducing Your Town	話すこと（やり取り）	a: 状況や伝えたいことに応じて、形容詞句・関係詞を正しく使える。 b: 形容詞句・関係詞を正しく使うことができる。 c: 形容詞句・関係詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		書くこと	a: 状況や伝えたいことに応じて、形容詞句・関係詞を正しく使える。 b: 形容詞句・関係詞を正しく使うことができる。 c: 形容詞句・関係詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
	中間考査			
	Lesson 7 Languages of the World Lesson 8 Imagining the Future	聞くこと	a: 副詞・不定詞を含む文を正しく聞き、文の全容を理解できる。 b: 副詞・不定詞を含む文を正しく聞くことができる。 c: 副詞・不定詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		読むこと	a: 副詞・不定詞を含む文を正しく読み、文全容を理解できる。 b: 副詞・不定詞を含む文を正しく読むことができる。 c: 副詞・不定詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		話すこと（発表）	a: 状況や伝えたいことに応じて、副詞・不定詞を正しく使える。 b: 副詞・不定詞を正しく使うことができる。 c: 副詞・不定詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		書くこと	a: 状況や伝えたいことに応じて、副詞・不定詞を正しく使える。 b: 副詞・不定詞を正しく使うことができる。 c: 副詞・不定詞を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
	期末考査			
3	Lesson 9 Happiness and Stress Lesson 10 Comparing Countries	聞くこと	a: 副詞節・比較表現を含む文を正しく聞き、文の全容を理解できる。 b: 副詞節・比較表現を含む文を正しく聞くことができる。 c: 副詞節・比較表現を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		読むこと	a: 副詞節・比較表現を含む文を正しく読み、文の全容を理解できる。 b: 副詞節・比較表現を含む文を正しく読むことができる。 c: 副詞節・比較表現を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		話すこと（やり取り）	a: 状況や伝えたいことに応じて、副詞節・比較表現を正しく使える。 b: 副詞節・比較表現を正しく使うことができる。 c: 副詞節・比較表現を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
		書くこと	a: 状況や伝えたいことに応じて、副詞節・比較表現を正しく使える。 b:副詞節・比較表現を正しく使うことができる。 c: 副詞節・比較表現を理解しようとしている。	定期考査 小テストなど
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度